

森と水と暮らしとの会議 報告書

1. 日 時 令和5年12月18日（月）午後4時～午後5時12分
2. 場 所 中能登町役場総務庁舎2階大会議室
3. 出席議員 笹川議長、南副議長、坂井議員、甲部議員、古玉議員、澤議員、池島議員、角議員、合田議員、三浦議員 10名
4. 対象団体 森と水と暮らし 代表 須藤雅彦氏ほか4名
5. テーマ 中能登町に計画中の風力発電とその結果起こりうる問題について

6. 実施内容

笹川議長、森と水と暮らし代表者のあいさつ後、出席者双方が自己紹介し、意見交換を行った。

下記のような意見が出された。

【団体からの意見】

①風力発電の建設計画は、石動山側に1社、眉丈山側に2社の事業者が計画を進めている。

石動山側は当初中能登町内に建設の予定であったが、100メートルほど移動し、七尾市内に建設が予定されている。

②建設計画のある石動山側に田んぼで無農薬の米づくりをしているが、水への影響の危機感を感じ、個人だけの問題ではなく、町、能登、日本全体の問題ではないか。能登が世界農業遺産として認められたことも山や森があつてのもの。

風力発電が環境や生物などに与える影響を考えるシンポジウムを2回開催し、関心の高さを実感した。

③風力発電事業について、地域の人に話を聞いたが「初めて聞いた」など地域の人に情報が伝わっていないことに危機感を感じた。

④自治体によっては「建設計画中止」の動きも増えている。

（青森県八甲田山系風力発電、山形県鶴岡市風力発電など）

地域では健康に害を与える「超低周波騒音」等が問題となっている。

⑤建設に当たり、「水脈」が変わる、保水力による土砂災害等の自然環境に悪影響が出ると予測される。

豊かな水、いい山があるから美味しいお米がとれる文化のルーツや背景を知ってもらい取り組みを希望する。

豊かな自然の恵みを受けながら、幸せに暮らせる未来、特にこれからの若者たち子どもたちが、これらのことを感じながら暮らせる未来が大切であり、皆さんと共に考えていきたい。

⑥能登で長年、米づくりをしている。「環境保全」する立場から、JAS 有機米や特別栽培米の生産を進め、また「世界農業遺産」「朱鷺の放鳥」を機に能登の米のブランド化をはかり、米づくりの経営の安定を図り、若者が定住し、米作りに参画する環境を整えていきたい。それに「風力発電」が相反する存在となるのは歴然としている。

行政やJAも「農業遺産」「朱鷺の放鳥」を機に「環境保全」に取り組んでいくべきではないか。

⑦今後も勉強会、意見交換会の場をお願いしたい。

また、議会としての風力発電への態度、姿勢を表明してほしい。

【議員からの意見】

①いろいろな影響があることがわかった。検討していく必要がある。

②あおば保育園の後ろの山に「風力発電」が建設されることを聞いて驚いている。個人的には建設に反対したいと考える。